

2021 年 10 月 12 日

未承認新規医薬品・医療機器評価委員会承認された治療法

当院の未承認新規医薬品・医療機器評価委員会にて、下記の治療法が承認されました。対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、病院ホームページにて情報を公開することにより投薬を実施しております。なお、本件について同意できない場合、診療において不利益を被ることはありません。この内容に関して拒否される場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

実施内容	くも膜下出血後の脳梗塞予防におけるシロスタゾール増量使用
実施責任者	三重大学医学部附属病院 病院長 伊佐地 秀司
対象者	くも膜下出血を発症した患者
承認日	2021 年 10 月 12 日
対象期間	永続
概要	【目的・意義】 くも膜下出血後の脳血管攣縮は未だ解決できていない問題です。一方、脳梗塞治療に対しシロスタゾールは薬事法で承認されており、くも膜下出血後の脳血管攣縮に伴う脳梗塞に対しても日常的に使用されていますが、その効果は十分とはいえません。シロスタゾールを増量（1 回 100mg を 1 日 3 回投与）することで脳梗塞の発生率を抑えるという報告があり（Transl Stroke Res. 2019;10:381-388）、脳血管攣縮に伴う脳梗塞を生じる可能性が高い時期であるくも膜下出血発症後 4 日目より最低 1 週間から最長 4 週間の間、通常 1 回 100mg を 1 日 2 回経口投与するところを 3 回投与に増量します。 【想定される不利益と対策】 頭痛、動悸、頭蓋内出血、消化管出血などが起こり得ると想定される有害事象ですが、投与を中止し、状況に応じた治療を迅速に行います。増量する場合は、必ず入院治療中であるため迅速な対応が可能です。
お問い合わせ先	三重大学医学部附属病院 総務課 総務係 代表 059-232-1111（内線 6293）

以上